

△の数	訂	正	記	事	担当	検図	年月日	△の数	訂	正	記	事	担当	検図	年月日		
△							..	△							..		
△							..	△							..		
適用規格																	
定 格	使用温度範囲		—— ℃ ～ —— ℃		保存温度範囲		—— ℃ ～ —— ℃										
	電 力		—— W		特性インピーダンス		—— Ω (—— ~ —— Hz)										
	特 殊 性		——		適合ケーブル		——										
性 能																	
	項 目		試 験 方 法				規 格				Q T		A T				
構 造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○		○				
	表 示		目視にて確認する。								○		○				
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗		mA (DC又は1000 Hz) で測定する。				中心コンタクト mΩ以下 外部コンタクト mΩ以下				—		—				
	絶 縁 抵 抗		DC Vで測定する。				MΩ以上				—		—				
	耐 電 圧		AC Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				—		—				
	電圧定在波比		周波数 ~ Hzにて測定する。				VSWR 以下				—		—				
	挿 入 損 失		周波数 ~ Hzにて測定する。				dB以下				—		—				
機 械 的 性 能	単体挿抜力		の鋼製ピンで測定する。				差込力 N以下 引抜力 N以上				—		—				
	総合挿抜力		適合コネクタで測定する。				差込力 N以下 引抜力 N以上				—		—				
	繰返し動作		回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗： 中心コンタクト mΩ以下 外部コンタクト mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				—		—				
	耐 振 性		周波数 ~ Hz、片振幅 mm、 加速度 m/s ² で 方向各 時間試験する。				① μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				—		—				
	耐 衝 撃 性		加速度 m/s ² 、持続時間 ms 正弦半波 方向各 回試験する。								—		—				
環 境 的 性 能	ケーブルクランプ部の引っ張り強度		N以下の引張力をケーブル軸に加える。				① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損のないこと。				—		—				
	温湿度サイクルの耐湿性		温度 ~ ℃、湿度 ~ %中 に サイクル (時間) 放置する。				① 絶縁抵抗： MΩ以上 (高温時) ② 絶縁抵抗： MΩ以上 (乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				—		—				
	温度サイクル		温度 → → → ℃ 時間 → → → 分 を サイクル試験する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				—		—				
	塩 水 噴 霧		濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。				はなはだしい腐食がないこと。				○		—				
備考								製 図		担 当		検 図		承 認		出 図	
								技 95.2.14 小松		技 95.2.20 池田		技 95.2.20 三好		技 95.2.20 小松			
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。																	
注 QT：確認試験 AT：製品検査 ○：適用項目																	
製品規格表																	
製品名 E.FL-LP-N																	
製品コード CL 33/-0441-9																	
1/1																	